

# 香川県言語聴覚士会会報

KAGAWA SPEECH-LANGUAGE-HEARING THERAPISTS ASSOCIATION NEWSLETTER

発行所／（一社）香川県言語聴覚士会

## 「地域ケア個別会議」に参加しよう

地域医療部 合田 佳史

### 1. 地域ケア個別会議とは

厚生労働省は、団塊の世代が75歳以上になる2025年を目途に、高齢者が重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、各地域で、「医療」「介護」「介護予防」「住まい」「生活支援」が包括的に確保される地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを推進しています。

特に「介護予防」は、要介護状態の軽減や悪化の防止だけでなく、高齢者が地域で自立した生活がおくれるようにすることを目的としており、これらは、「高齢者本人の自己実現」、「高齢者が生きがいを持ち、自分らしい生活をつくっていただく」ことが重要となります。そこで、個別ケースの「介護予防」について各市町が主催して開かれる会議が「地域ケア個別会議」です。

地域ケア個別会議の目的は、①高齢者の実態把握や課題解決のための地域支援ネットワークの構築、②地域の介護支援専門員の方の理念に基づいた高齢者の自立支援に資するケアマネジメントの支援、③個別ケースの課題分析等を行うことによる地域課題の把握などが挙げられます。

### 2. 地域ケア個別会議における言語聴覚士の役割

「地域ケア個別会議」は、行政職員、地域包括支援センター職員、介護サービス事業者、医療関係者、民生委員など多職種で構成され、我々言語聴覚士は「助言者」という立場で参加が求められます。言語聴覚士は、コミュニケーション（きこえやことば）や食べること（摂食嚥下）の専門職として、「本人と家族が住み慣れた地域で自分らしく生活していく」ために、具体的な支援方法を助言・提案することになります。

### 3. 香川県内での地域ケア個別会議の動向

香川県内でも各市町が主催した「地域ケア個別会議」が開催されております。現在、県士会として把握している限りではこれまでに、高松市、観音寺市、三豊市からの依頼に各ブロックのS Tを派遣して対応しております。特に高松市では昨年度より複数回の派遣依頼に対応して頂いております。会議の実際については、参加されたS Tに報告書を作成していただき、まとめたものを県士会HPの会員専用ページに挙げておりますのでご確認いただければと思います。また、今年度より香川県予算として地域ケア個別会議への助言者派遣が可能となり、各専門職を助言者として招集する市町が増えてきております。

#### 4. お願い

「地域ケア個別会議」への助言者としての参加はとても責任のある業務だと思います。「難しい」、「怖い」というイメージを持つ会員の方も多いのではないかと思います。しかしながら、コミュニケーションや摂食嚥下について専門的に助言できる職種は我々言語聴覚士にしかできない内容です。我々が当たり前と思っている事柄についても提案するととても喜ばれたり、興味を持ってもらえたりすることも多くあります。また、多職種が参加しますので、他の職種の方からの助言内容にはとても勉強になる部分も多いと思いますし、自分の住んでいる（働いている）市町の状況を知る良い機会にもなります。お声かけの際はぜひ、積極的にご協力をお願いできればと思います。

#### 5. 最後に

今年度は学術企画部主催で「地域ケア会議」について12月に研修会が予定されております。また、香川県地域包括ケアシステム推進委員会（P T・O T・S T 合同）でも、10月に「地域ケア会議推進リーダー導入研修会」が予定されており、「地域ケア個別会議」について学ぶことができます。ぜひ、多くの会員の皆様にご参加いただければと思います。

### 令和3年度香川県言語聴覚士会講演会

令和3年7月18日（日）に令和3年度香川県言語聴覚士会講演会が開催されました。今回は東京女子医科大学病院リハビリテーション科の若林秀隆先生に【病院や在宅におけるリハビリテーション栄養について】のテーマでご講義いただきました。皆さんご存じの通りリハビリテーション栄養の第一人者の若林秀隆先生のお話を聴くことができるということで、多数の方にご参加いただき大盛況の会となりました。リハビリテーション栄養の最新トピックスや臨床を行う上で役に立つ情報などが内容に織り込まれており、2時間の講演がとても短く感じられました。参加者の皆さんからの質問も時間内ではとても答えられないほど沢山あり、若林先生が驚かれるほどでした。また、今回の講演会は香川県言語聴覚士会会員に加え、香川県理学療法士会、香川県作業療法士会の会員の方も多数参加されました。さらに今回新しい取り組みであるビデオ講演会を、香川県言語聴覚士会の会員限定で行いました。こちらも多数参加され、ご好評いただきました。

アンケートの内容を一部ご紹介いたします。「リハ栄養の第一人者である若林先生から基礎から最先端の臨床の考え方など、幅広く講義していただき、とても面白かったです。」「老嚥やサルコペニア患者に対するアプローチ等をわかりやすく教授して頂けた」「栄養に関する様々な視点での内容であり、面白く拝聴させていただきました。」などの感想をいただきました。

講演会開催にあたって多くの先生方にご尽力いただきました。特に、多数のアドバイスいただいた武島会長、座長を引き受けていただいた黒川先生、ZOOM関係で尽力いただいた白川先生、当日ご協力いただいた中讃ブロックの先生方、その他お手伝いいただいた全ての先生方、本当にありがとうございました。

摂食嚥下リハビリ学会分類 2021 について

2021年9月17日に日本摂食嚥下リハビリテーション学会のホームページに摂食嚥下リハビリ学会分類 2021 が掲載されました。学会分類 2021 (食事) 早見表、学会分類 2021 (とろみ) 早見表です。詳しくは日本摂食嚥下リハビリテーション学会のホームページをご確認ください。

学会分類 2021 (食事) 早見表

コード 【I-8 項】	名称	形態	目的・特色	主食の例	必要な咀嚼能力 【I-10 項】	他の分類との対応 【I-7 項】
0	j 嚥下訓練食品 0j	均質で、付着性・凝集性・かたさに配慮したゼリー 離水が少なく、スライス状にすることが可能なもの	重度の症例に対する評価・訓練用 少量をすくってそのまま丸呑み可能 残留した場合にも吸引が容易 たんばく質含有量が少ない		(若干の送り込み能力)	嚥下食ピラミッド L0 えん下困難者用食品許可基準 I
	i 嚥下訓練食品 0i	均質で、付着性・凝集性・かたさに配慮したとろみ水 (原則的には、中間のとろみあるいは濃いとろみ*のどちらかが適している)	重度の症例に対する評価・訓練用少量ずつ 飲むことを想定 ゼリー丸呑みで誤嚥したりゼリーが口中で溶けてしまう場合 たんばく質含有量が少ない		(若干の送り込み能力)	嚥下食ピラミッド L3 の一部 (とろみ水)
1	j 嚥下調整食 1j	均質で、付着性、凝集性、かたさ、離水に配慮したゼリー・プリン・ムース状のもの	口腔外で既に適切な食塊状となっている (少量をすくってそのまま丸呑み可能) 送り込む際に多少意識して口蓋に舌を押しつける必要がある 0j に比し表面のざらつきあり	おもゆゼリー、ミキサー粥のゼリー など	(若干の食塊保持と送り込み能力)	嚥下食ピラミッド L1・L2 えん下困難者用食品許可基準 II UDF 区分 かまなくともよい (ゼリー状) (UDF:ユニバーサルデザインフード)
1	嚥下調整食 2-1	ビュレ・ペースト・ミキサー食など、均質でなめらかで、べたつかず、まとまりやすいもの スプーンですくって食べることが可能なもの	口腔内の簡単な操作で食塊状となるもの (咽頭では残留、誤嚥をしにくいように配慮したもの)	粒がなく、付着性の低いペースト状のおもゆや粥	(下顎と舌の運動による食塊形成能力および食塊保持能力)	嚥下食ピラミッド L3 えん下困難者用食品許可基準 III UDF 区分 かまなくともよい
	2 嚥下調整食 2-2	ビュレ・ペースト・ミキサー食などで、べたつかず、まとまりやすいもので不均質なものを含む スプーンですくって食べることが可能なもの		やや不均質 (粒がある) でもやわらかく、離水もなく付着性低い粥類	(下顎と舌の運動による食塊形成能力および食塊保持能力)	嚥下食ピラミッド L3 えん下困難者用食品許可基準 III UDF 区分 かまなくともよい
3	嚥下調整食 3	形はあるが、押しつぶしが容易、食塊形成や移送が容易、咽頭でばらけず嚥下しやすいように配慮されたもの 多量の離水がない	舌と口蓋間で押しつぶしが可能なもの 押しつぶしや送り込みの口腔操作を要し (あるいはそれらの機能を賦活し)、かつ誤嚥のリスク軽減に配慮がなされているもの	離水に配慮した粥 など	舌と口蓋間の押しつぶし能力以上	嚥下食ピラミッド L4 UDF 区分 舌でつぶせる
4	嚥下調整食 4	かたさ・ばらけやすさ・貼りつきやすさなどのないもの 箸やスプーンで切れるやわらかさ	誤嚥と窒息のリスクを配慮して素材と調理方法を選んだもの 歯がなくても対応可能なが、上下の歯槽間で押しつぶすあるいはすりつぶすことが必要で舌と口蓋間で押しつぶすことは困難	軟飯・全粥 など	上下の歯槽間の押しつぶし能力以上	嚥下食ピラミッド L4 UDF 区分 舌でつぶせる および UDF 区分歯ぐきでつぶせる および UDF 区分容易にかめるの一部

学会分類 2021 は、概説・総論、学会分類 2021 (食事)、学会分類 2021 (とろみ) から成り、それぞれの分類には早見表を作成した。本表は学会分類 2021 (食事) の早見表である。本表を使用するにあたっては必ず「嚥下調整食学会分類 2021」の本文を熟読されたい。なお、本表中の【】表示は、本文中の該当箇所を指す。  
\*上記 0i の「中間のとろみ・濃いとろみ」については、学会分類 2021 (とろみ) を参照されたい。  
本表に該当する食事において、汁物を含む水分には原則とろみを付ける。【I-9 項】  
ただし、個別に水分の嚥下評価を行ったとろみ付けが不要と判断された場合には、その原則は解除できる。  
他の分類との対応については、学会分類 2021 との整合性や相互の対応が完全に一致するわけではない。【I-7 項】

学会分類 2021 (とろみ) 早見表

	段階 1 薄いとろみ【III-3 項】	段階 2 中間のとろみ【III-2 項】	段階 3 濃いとろみ【III-4 項】
英語表記	Mildly thick	Moderately thick	Extremely thick
性状の説明 (飲んだとき)	「drink」するという表現が適切などろみの程度口に入れると口腔内に広がる液体の種類・味や温度によっては、とろみが付いていることがあまり気にならない場合もある飲み込む際に大きな力を要しないストローで容易に吸うことができる	明らかにとろみがあることを感じ、かつ「drink」するという表現が適切などろみの程度口腔内での動態はゆっくりですがには広がらない舌の上でまとめやすいストローで吸うのは抵抗がある	明らかにとろみが付いていて、まとまりがよい送り込むの力が必要スプーンで「eat」するという表現が適切などろみの程度ストローで吸うことは困難
性状の説明 (見たとき)	スプーンを傾けるとすっと流れ落ちるフォークの歯の間から素早く流れ落ちるカップを傾け、流れ出た後には、うっすらと跡が残る程度の付着	スプーンを傾けるととろりと流れるフォークの歯の間からゆっくりと流れ落ちるカップを傾け、流れ出た後には、全体にコーティングしたように付着	スプーンを傾けても、形状がある程度保たれ、流れにくいフォークの歯の間から流れ出ないカップを傾けても流れ出ない(ゆっくりと塊となって落ちる)
粘度 (mPa・s) 【III-5 項】	50-150	150-300	300-500
LST 値 (mm) 【III-6 項】	36-43	32-36	30-32
シリンジ法による 残留量 (ml) 【III-7 項】	2.2-7.0	7.0-9.5	9.5-10.0

学会分類 2021 は、概説・総論、学会分類 2021 (食事)、学会分類 2021 (とろみ) から成り、それぞれの分類には早見表を作成した。本表は学会分類 2021 (とろみ) の早見表である。本表を使用するにあたっては必ず「嚥下調整食学会分類 2021」の本文を熟読されたい。なお、本表中の【】表示は、本文中の該当箇所を指す。

粘度: コンプレート型回転粘度計を用い、測定温度 20℃、ずり速度 50 s<sup>-1</sup> における 1 分後の粘度測定結果【III-5 項】。

LST 値: ラインプレッドテスト用プラスチック測定板を用いて内径 30 mm の金属製リングに試料を 20 ml 注入し、30 秒後にリングを持ち上げ、30 秒後に試料の広がりが距離を 6 点測定し、その平均値を LST 値とする【III-6 項】。

注 1. LST 値と粘度は完全には相関しない。そのため、特に境界値付近においては注意が必要である。

注 2. ニュートン流体では LST 値が高く出る傾向があるため注意が必要である。

注 3. 10 ml のシリンジ筒を用い、粘度測定したい液体を 10 ml まで入れ、10 秒間自然落下させた後のシリンジ内の残留量である。

## 事務局よりお知らせ

### ■入会希望の方へ

「入会届」の提出と年会費5,000円のお支払いをお願いします。

### ■会員の皆様へ

下記に変更があった方は事務局までご連絡ください。

\*職場 \*名前 \*連絡先 \*メールアドレス

⇒「変更届」の提出をお願いします ※メール、郵送対応可能

●年会費は年度中のお支払いをお願いします。

●退会については、事務局までお問合せください。

### ■届出用紙の提出方法

「入会届」「変更届」は県士会ホームページ <https://www.normanet.ne.jp/~kagawast/>よりダウンロードできます。ご入力・記名の上、メールまたは郵送にて事務局までご送付ください。

注意：メールで用紙を送付された方には受領メールを送らせていただきます。受領メールが一週間以内に届かない場合は、事務局までお問合せください。

### ■振込先

【記号】16310 【番号】18249361 【名前】一般社団法人香川県言語聴覚士会

◎他の金融機関からの振込

【店名】六三八 【店番】638 【預種目】普通預 【口座番号】1824936

注意：入金いただきましたら事務局までご一報ください

その他、ご不明な点がございましたら、事務局までお問い合わせください。

〒761-8057 香川県高松市田村町 1114

かがわ総合リハビリテーションセンター 言語療法室内 一般社団法人 香川県言語聴覚士会 事務局

TEL : 087-867-6008 Mail : [kagawast.gengochokak@utopia.ocn.ne.jp](mailto:kagawast.gengochokak@utopia.ocn.ne.jp)